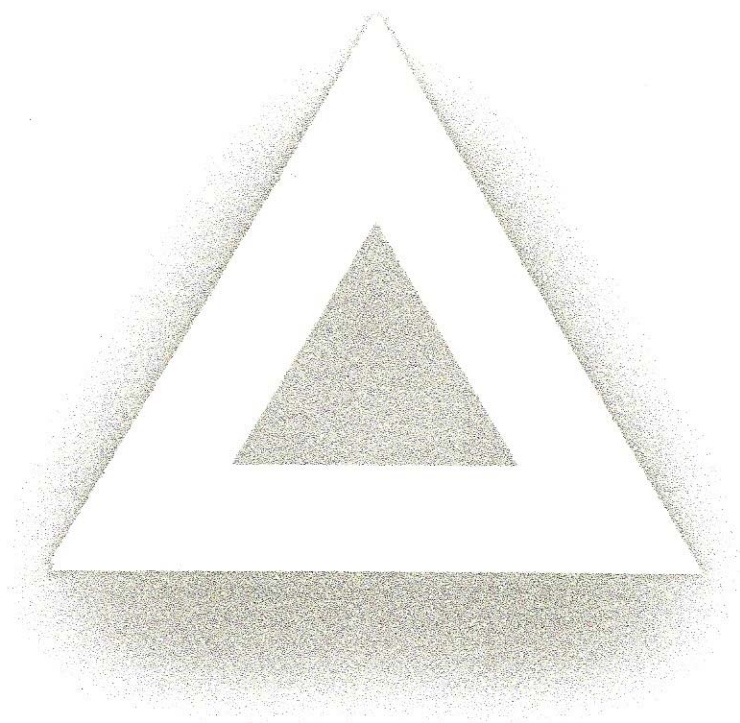


ドン・イナシオの家
訪問者ガイド・日本語版



『私は誰も治療しません。治療するのは神様なのです。』
ジョアオ・テイシェイラ・デ・ファリアス

目次

第二改訂版序文	4
はじめに	4
聖ドン・イナシオの人物像	4
第一章 『ドン・イナシオの家』 カサ	5
1・1 ドン・イナシオの家	5
1・2 心構え	5
1・3 カサの診療法とスピリチュアル媒体	6
1・4 施設の概要	6
1・5 安全要項	6
1・6 プサダ/ホテル、タクシー と レストラン	6
第二章 出発前に準備する事柄	7
2・1 カサでの服装	7
2・2 他に持参する衣服	7
2・3 旅の計画	7
2・4 推薦本	7
2・5 その他に持参するもの	7
第三章 アバジャイナに到着してから	8
3・1 カサへの訪問	8
3・2 カサの敷地内での留意事項	8
3・3 「静粛」が「祈り」であること認識	8
第四章 心霊学（スピリティズム）	9
4・1 基本的概念	9
4・2 エンティティ と ミディウム	9
4・3 他のミディウム達について	9
第五章 カサの施設概要	10
5・1 全室での一般規則	10
5・2 メイン・ホール	10
5・3 第一カレントルーム/ミディウムズ・ルーム	10
5・4 エンティティズルーム	11
5・5 施設の見取り図	12
5・6 診療室	13
5・7 付属看護室	13
第六章 基本的な診察と治療の行程	14
6・1 まず初めに	14
6・2 トランスレーション・ライン	14
6・3 ミディウムズ/カレント・ライン	14
6・4 インターベーション・ライン	15
6・5 ファーストタイム・ライン	15
6・6 セカンドタイム・ライン	15
6・7 エイト・オクロック・ライン と ツー・オクロック・ライン	15
6・8 リビジョン・ライン	15
6・9 スープ・ライン	15
6・10 フェアウェル・ライン（送別の列）	16

第七章 診療	17
7・1 その意味合い.....	17
7・2 準備の仕方.....	17
7・3 インターベーション・ライン	17
7・4 インターベーション (診療)	17
7・5 診療後.....	17
7・6 診療後のガイドライン	18
7・7 リビジョン (検診)	18
7・8 特殊な場合の診療.....	19
第八章 ハーブ系サプリメント	20
8・1 パッシフローラ.....	20
8・2 食生活.....	20
第九章 その他の重要事項	21
9・1 波動水.....	21
9・2 スープ.....	21
9・3 クリスタル・ベッド.....	21
9・4 聖滝.....	21
9・5 プレイヤー・トライアングル (三角祈願所)	22
9・6 ロザリオ.....	22
9・7 家族、友人、知人の写真.....	22
9・8 書店.....	22
9・9 寄付金.....	23
9・10 ヒーリング行為、その他の治療処置について.....	23
9・11 マッサージとボディワーク	23
9・12 医療・治療中の方.....	23
9・13 車椅子で訪問される方.....	23
9・14 写真撮影、ビデオ撮影、インタビュー	23
9・15 幼児・子供達.....	24
9・16 カサへの手紙・投書.....	24
第十章 カサの息子と娘達	25
10・1 その意味合いとは?	25
10・2 何をする必要があるのでしょうか?	25
10・3 与えられる資格とは?	25
10・4 ミディアムとしての責任とは?	25
第十一章 他の人達・グループをカサに引率される場合	26
付録	27
A 初めて訪れられる方の早見ガイド.....	27
B 診療が予定されました。どうすれば良いのですか?.....	28
C 診療後の養生法.....	29
D 再検診の受け方.....	30
E カサが処方するサプリメントの服用の仕方	30
F サプリメントの処方が重複する場合.....	31
G カサ内の各施設の運営時間帯	32
H 聖滝.....	33
I よく聞かれる質問・問い合わせ.....	34・35・36

第二改訂版序文

この訪問者ガイドの目的は「ドン・イナシオの家」における沢山のルールと手続きの全てを簡潔かつ、明解にする為のものであります。これらの殆どのルールは、長年に渡って診療・啓発活動をされているエンティティ（聖霊・指導霊）によって手渡されています。そして、これまでに、多くのルールの変更がありました。これからも変更が付け加えられることでしょう。

私達は全ての規則と手続きを出来る限りの努力をもって総括してきていますが、省略されている部分があるかも知れません。お気づきの点は casaguide@comcast.net まで英語かポルトガル語でお知らせ下さい。尚、全てのEメールに返信はできかねますが、皆様からの全ての提案を閲覧し次回の改訂版にて包含致します。もし、このガイドブックを気に入られ、良心的サポートを送りたい方は、聖ドン・イナシオに感謝の祈りを捧げられることをお願い致します。

私達はこの第二改訂版の出版にあたり、数々のコメント・洞察・時間を提供して下さった方々に敬意を表すると同時に、このガイドブックを更に明確、かつ使い易くされたことに感謝します。

はじめに

現時点であなたが身体の治療を探しているのもあれ、人生や生活の援助を求めているのもあれ、又は霊性・精神面の発達を迫られているのにしても、このガイドブックは「ドン・イナシオの家」であなたにとって最大限の結果が得られるお手伝いをする目的で作成されました。そして、来られる方の訪問・滞在が楽しく充実したものとなることを望んでいます。このガイドブックで説明されているルールとガイドラインはカサのエンティティによって定義されています。そして時と場合により、これらのルールは変更され、私達は出来る限りの努力をして次の改訂版にて刷新します。

アバジャイナに到着されたなら、毎週火曜日の晩にカサで行なわれる、初めて訪問される方のための説明会（オリエンテーション）に参加されることをお勧めします。この説明会は英語で行なわれます。再訪問者にとっても、ルール・手続きの変更を知るとも良い機会です。

「ドン・イナシオの家」で最大の効果を得る方法は内省・内観とお祈りです。他の方々にも敬意の念を持って接し、あなたがすべき課題／過程に対して明け渡しの準備をされてますように。

聖ドン・イナシオ の人物像

ブラジルではポルトガル語の発音『イナシオ』と呼ばれていますが、日本ではスペイン語の発音である『イグナチオ』として知られています。聖ドン・イナシオ・デ・ロヨラは、フランシスコ・ザビエルとその他 5 人の同志と共に 1538年に『イエズス会』を創設・設立した発起人。『イエズス会』の代表として1549年に日本にキリスト教の布教に来たフランシスコ・ザビエルはパリの同じ学校で共に学んだ学友でした。

『イエズス会』は宗教を超越した、精神世界の認知と探求と普及、『神・愛』と言う究極の存在への覚醒と実践が目的です。マンレサの洞窟における11ヶ月間の苦行の隠遁生活からドン・イナシオは『お祈り・瞑想・内省』を取り入れた『霊操』と言う自己教育法を編み出しました。体を鍛えるのが『体操』なら、靈魂を磨いて訓練するのが『霊操』です。『霊操』の原語は『心の誤りを修正し自身を救済する』ことを意味します。首都ブラジリアの郊外にある『ドン・イナシオの家』は、この『霊操』を実践しているスピリチュアル・センターです。そして、『霊操』の実践によってもたらされる結果が、スピリチュアル・ホスピタルやスピリチュアル・スクールとしての機能を持たせ、現在も聖イナシオと聖ザビエルは、ここで他の沢山のエンティティ（指導霊）と共に世界中から集まってくる人々に精神的指導・訓練・啓発活動・診療活動をしています。

第一章 『ドン・イナシオの家』 カサ

1・1 ドン・イナシオの家

ドン・イナシオの家は『神のジョン』として世界的に知られている、霊媒・ジョアオ・テイシェイラ・デ・ファリアスによって、彼のスピリチュアル・ヒーリングの使命を遂行する場所として1979年にアバジャイナに設立されました。カサは無宗教寺院として、そして数え切れないほどの聖霊達が私達の肉体面・精神面・感情面を癒す働きを手助けしているスピリチュアル・ホスピタルとして運営しています。

カサは精神教義・万教同根説の原則にのっとり運営されています。誰であれ、いかなる信念・思想・信仰をも『ドン・イナシオの家』は受け入れます。

1・2 心構え

もしあなたがカサにやって来て、神様があなたの前に現れ『さあ、あなたはもう治りましたよ。もう、家に帰ってよろしい!』と言うことを期待しているのであれば、あなたはきっと失望することでしょう。もしそれがあなたの運命だったなら、神様はあなたにアバジャイナにまで来てもらってその様な奇跡を起こす必要はないでしょうし、神様はその奇跡をあなたの自宅で行なうことが出来たはずですよ。もしあなたが現在ここにいるのであれば、多分あなたにとってそうするより外ならないからでしょう。

どうやら、あなたにとって神の愛と癒しを受け取ることについて習うべき何かがあるに十分にあるようです。ですから、あなたはここで『教わる』ことと、あなたのすべき役割の準備をさせられるということを心に留意して下さい。例え、それがあなたにとってどの様な内容であってもです。霊媒・ジョアオとエンティティ達と一緒にいる人達はそれぞれの時間とエネルギーを費やして、あなたが癒しを受け取る過程を手助けする努力をしています。これはあなたがいつも覚えておかなければならないことですが、あなたが出航しようとしている『癒しの旅』スピリチュアル・ジャーニーは他の誰でもないあなた自身の責任の下にあるのです。

もし私達が霊的な本質の壮大な計画を見ることができれば、私達はどれだけ小さなことを求めるかとも驚くかも知れません。しかし、私達が私達のそれぞれの役割をこなさない限り、壮大な計画全体が前に進むことが出来ないのです。朗報はあなたがここにいること、そして、あなたの魂の何かがこの地に連れて来てくれたことです。

これはきっと、あなたが成長する一つのきっかけを意味し、あなたの健康を改善して更にあなた自身が他の人達の手助けになるきっかけとなるでしょう。

カサでの流れはエンティティによって皆さん（カサのスタッフとボランティアも含まれます）が最大限の癒しと、それぞれのスピリチュアルジャーニーに必要な援助が施されるように注意深く配慮されているということを知っておいて下さい。また、国際社会的基準からするとカサでの物事は無秩序に見えるかも知れません。しかし、あなたは国際基準、一般社会の条件にいないということを知って下さい。ここはスピリチュアル病院で、ここでの規則は多くの方が普段慣れ親しんでいるものからかなりかけ離れています。

もし、あなたがここでの規則や手順に不満を感じられるのであれば、ここでのやり方を変え様とする前に、あなたの願望・期待感を見つめ直して下さい。そして、どれだけ不自由分に物事が運営されているかを語ることに時間を費やすことは、本当にあなた自身が向き合わなければならない事柄の妨げになります。

どうか、これが絶対的な規則であると思わず、一つの気付きの発端として注意して下さい。

もし、あなたがカサに何か貢献できることがあれば、エンティティもしくはスタッフにお知らせ下さい。私達は皆様のご意見を喜んで歓迎いたします。

1・3 カサの診療法とスピリチュアル媒体

カサでは数々の精神的手法を利用・活用・実践し、人々の精神向上・健康改善のプロセスに役立てています。下記はそのスピリチュアル媒体の例です。これらは後程それぞれ説明します。

- 波動
- 栄養補給剤（ハーブ系サプリメント）
- 波動水
- マグネティック・パス（Magnetic Passes）
- スピリチュアル・パス（Spiritual Passes）
- 心霊治療
- クリスタルパス
- 聖滝
- スープ
- 祈り

1. 4 施設の概要

カサは中央ブラジル郊外の小さな町にあるスピリチュアル・センターです。カサには医療施設、もしくは特別な看護を必要とされる訪問者に対応できる医療機器を備えていません。特別な容体を患っている方は、ブラジルへ旅立つ前にかかりつけの医師に必ず相談して下さい。カサは訪問者のブラジル旅行中における、いかなる容体の変化について一切の責任を負うことは出来ません。

アバジャイナの町には病院もしくは医療施設と呼ばれるものは無いことを認識して下さい。ここには、非常任の医師と応急処置を施すクリニックがあります。薬局では一般常備薬と幾つかの処方箋を提供しています。もし、あなたが処方箋を服用中でカサの訪問中も継続して服用する必要がある場合、その処方箋はここには無い可能性がありますので、滞在期間中に十分な量を準備して下さい。

1. 5 安全要項

カサの施設にいる間、あなたは開発途上国にいるということと、カサは全ての人に解放されていて、自分の物でもない物を持ってゆく人達もいるということ覚えておいて下さい。あなたの所持品がどこにあるか注意して下さい。カレント・ルームに座っている時ですら、カバンやハンドバッグは足元に置き、部屋の鍵はカバン等に入れず、ポケットに確実にしまして下さい。こうしなければならないことは残念ですが、カサは盗難・紛失物について責任を負えません。

アバジャイナは都会から遠く離れた町ですが、次々にやって来る沢山の外国人旅行者は不運にも望ましくない人達の注目を引き寄せています。夜間、くれぐれも一人歩きせず、団体で行動し主要道路を利用して下さい。遠回りになったとしても、その方が安全です。例え昼間でも、貴重品や大金を持ち歩かないよう気を付けて下さい。そして、くれぐれも常識のある行動を心掛けて下さい。

1・6 プサダ/ホテル、タクシー と レストラン

過去数年の間にアバジャイナにプサダ（食事付の宿泊施設）、ホテル、タクシー・サービス、レストラン等がカサにやって来る沢山の訪問者に対応するために出来ました。これらの多くのサービスはカサに参加する人達によって経営されていますが、カサとの商業的提携はありません。プサダ・ホテル、レストラン、タクシーサービスは独立して経営され、カサはそれぞれの反映されるサービスの質については責任を負いません。

第二章 出発前に準備する事柄

2・1 カサでの服装

エンティティは全ての参加者にカサでのセッション中は白色の服装をする様、お願いしています。更に、袖なしのシャツ、ショーツ、短く詰められた服装、露出度の高い服装は控えて下さい。

(但しカレント・ルームに入室しない限り、敷地内で他の色のついた服装を着ても大丈夫です) 服装はゆったりとして、腰周りがきつくないもの。もし、ベルトを締めなければいけない場合は、カレント・ルームで座る時だけはベルトを緩めて下さい。尚、敬意を表する為にもカレント・ルーム内では帽子やサングラスを着用しないようお願いします。

念のために、一組以上の白い服装を用意して下さい。アバジャイナでの洗濯状況はあまり能率的とは言えません。ですので、一旦洗濯に出して仕上がるまでに三日間はかかると見込んで下さい。理想的なのは、それぞれ白の上着三着と下着二着を準備しておくことと良いでしょう。

2・2 他に持参する衣服

カジュアルな軽装が町やプサダ内では最適です。温暖な気候を前提に、スウェットシャツ、軽いレイン・ジャケット、そして傘は絶対に必要です。比較的、日中は暑く、アバジャイナの天候は突然に変わることがあります。暑い日中は摂氏 35 度 (華氏 95 度)、寒い夜は摂氏 5 度 (華氏 41 度) です。

足元 カサ内ではサンダル、履き心地の良い革靴かテニス・シューズを履くことが出来ます。ハイキングをされる場合は、軽いハイキングシューズが最適です。殆どの道は舗装されておらず、舗装されていても汚物が落ちているので、お出かけ用の靴や革靴はお勧めしません。

2・3 旅の計画 <http://www.travelingtothecasa.com/index.htm> 参照。

あなたはここにヒーリングに来ていることを忘れないで下さい。そして、カサに滞在中はブラジルの別の場所を旅する計画は立てないで下さい。もし、あなたが訪問の最中にアバジャイナを離れることはあなたのヒーリングを危険にさらすことになると、エンティティは繰り返し言っています。もし、あなたが南米旅行を希望するのであれば、カサに来る前に済ませて下さい。また、カサを訪問した直後の激しい旅行の計画は立てないで下さい。ここであなたがカサの経験をした後、旅行が出来るまで十分に回復するまでに四十日間かかります。

2・4 推薦本

ジョン・オブ・ゴッドの自伝記

■ The Miracle man, The life story of Joao de Deus. R.Pellegrino-Estrich

カサでの体験談

■ Spiritual Alliances-Emma Bragdon PhD.

■ The Book of Miracles- Josie Ravenswing

カサの哲学

■ The Spirit's Book- Allan Kardec

■ The Medium's Book- Allan Kardec

■ The Gospel according to Spiritism- Allan kardec

■ Nosso Lar- Francisco Candido Xavier

■ And Life goes on- Francisco Candio Xavier

■ The Messengers- Francisco Candio Xavier

■ 『霊操』 『ある巡礼者の物語 イグナチオ・デ・ロヨラ自叙伝』 岩波文庫

2・5 その他に持参するもの

懐中電灯、カメラ、傘、帽子、啓発的な本、目覚まし時計。もし、電化製品の類 (ヘヤードライヤー、電気かみそり、携帯 (情報) 端末、電子手帳、コンピューター) を持参される場合、現地の電圧は 220 ボルトです。ブラジルの規格に対応できる携帯変圧器を準備して下さい。

CDプレイヤー又はカメラに使うアルカリ電池は簡単に手に入ります。

第三章 アバジャイナに到着してから

3・1 カサへの訪問

プサダに到着し落ち着いた後、カサを訪れ、その場所と各施設の配置を確認してみることはとても良いことです。毎週火曜日の晩7時から、初めてアバジャイナを訪問された方を歓迎する説明会（オリエンテーション）があります。この説明会ではカサの規則・手順、最近変更された事柄の説明、質問・問い合わせに対する回答を英語で行ないます。初めての訪問者の方は是非、参加されて下さい。

3・2 カサの敷地内での留意事項

まず、カサは聖域であることを憶えておいて下さい。この聖域に入場するにあたり、この場所、あなた自身、そして他の方々に敬意を払われるようお願い致します。この姿勢はあなた自身を含め、全ての人の体験を向上します。それ以外では、ご自由に敷地内の庭園を歩いて周られたり、展望台に座って眺望を楽しまれて下さい。

3・3 「静粛」が「祈り」であることの認識

カサの敷地内のいたるところに『静粛』を意味するサイン “Silence”（英語：サイレンス）“Silencio”（ポルトガル語：シレンシオ）が掲げられています。これは、『静粛・静寂・沈黙』自体が『祈り』であることを表明し、皆さんのできる限りの協力をお願いしています。

静寂の実質的効果は、他の人達に現時点で何が起きているか、心で聞き取る余裕を与えることです。そして、『静寂』を保つことには更に深く、もっと大切な側面があります。私達は更に深い静寂の中に入って行くことで、私達のそれぞれの課題／過程と、各々の内面の世界に集中することを容易にします。『静寂』はただ話さないということ以上に、『ありのままの境地』へお連れすることができるのです。

注意散漫になる出来事も多くありますが、それらの殆どは友人同士で各々の特殊体験を無邪気に交換し合う会話です。ここでは、多くの素晴らしい体験・経験が出来ますが、静寂・沈黙を深めない限りその経験はあり得ません。それらの多くの特別な経験・神秘体験の起源はカレント・ルームで本人も気がつかない間に始まっています。しかし、本当に意味深い経験はあなたがリラックスして庭園内で一人で休んでいる時とか、景色をボーっと眺めている時にやってきます。

これらのひと時は、他でもないあなたの為だけのものです。そして、時としてそれらは瞬間的にやって来て、一瞬の間に去って行きます。誰もこの一瞬の金の卵を掴み取る手助けも、その方法を教えることも出来ません。ですので、私達はあなたがアバジャイナにいる間、静寂を深める練習・実践をされることを願うのです。

第四章 心霊学（スピリティズム）

4・1 基本的概念

カサにおけるエンティティと霊媒・ジョアオとの関係、どれだけエンティティと私達の仲介をする技量・能力があるか、そして聖霊体系の詳しい説明はこのガイドブックの及ぶところではありません。この分野について出版されている多くの文献、第三章で紹介されている、Alan Kardec が執筆された代表的な書籍等を参照して下さい。

心霊学＝スピリティズム（Spiritism）の教義の見解・前提は『霊・精神』が『意識』として存在するということ。『霊・精神』は、肉体を持つ（私達が現在経験している状態）以前も、肉体を離れた後も『意識』として存在しています。精神世界の知識では私達はこれらの霊・精神・魂と通じ合えることが可能だと理解されています。

『霊・魂・精神』とやり取りをする発達した能力を持つ人達を霊媒・霊媒師と言います。数多くの違った手法・方法を使った交信の仕方があり、沢山の種類の霊媒師がいます。更に付け加えると、霊媒師達は違った次元での能力を発達させた人達ということが出来るでしょう。

ブラジルでは、心霊学は多数の施設やスピリチュアル・センターで、卓越した規律と共に献身的かつ習慣的に実施されています。ドン・イナシオの家はその規模、研究・活動範囲、評判においてとてもユニークです。ですので、皆さんはカサに来られるにあたり、ここでとても貴重な体験をされる心の準備をされて下さい。私達は皆さんが最大限の経験をされることを望んでいます。

4・2 エンティティ（Entity）とミディアム（Medium）

この章ではカサの立場上、皆さんに明確に確認しておきたい事柄について説明致します。まず最初に『エンティティ』とは日本語の『実在する聖霊』に当てはまり、カサに従事される、慈悲の心に富んだ、進化した聖霊を意味します。一方、カサの運営者である、ジョアオ・デ・デウスは一般的に『ミディアム』と呼ばれ、心霊界と人間界の間での仲介人の役割をされる『霊媒』を意味します。そして、私達も皆、ジョアオと同じく『霊媒』なのです。

ジョアオはブラジル及び世界においても、現在活動されている最も強力なフル・トランス霊媒師です。カサでのセッション中、ジョアオは大勢の違ったエンティティを必要に応じてジョアオの体に降臨・編入・合体させることが出来ます。それらのエンティティ達はドン・イナシオ、フランシスコ・ザビエル、ソロモン王、アゴスト・デ・アルメダ医師、ホセ・バルディビノ、そしてオズワルド・クルース等々です。

ジョアオの独特の能力は、皆さんがジョアオに降臨するエンティティ達とお互いに口頭で交流しながら、健康や人生に関するアドバイスや援助を伺う貴重な機会を可能にしてくれます。これは本当に稀有な機会ですので、この貴重な体験を大切にされて下さい。

4・3 他のミディアム達について

カサでは他にも沢山の手助けをしているミディアム達があります。厳密に言えば、あなた自身を含めて全員がミディアムなのです。幾人かの人達は他の人達と比べて霊媒能力を多少発達させていますが、誰でも皆、先天的な霊媒能力を持っています。殆どのこれらの霊媒はセッションが行なわれているカレント・ルームに座っています。幾人かの人達はまた、援助・助言を求めてやってくる人達の対応・治療プロセスに力を貸す為、各部屋の特定の持ち場をエンティティによって割り当てられています。

第五章 カサの施設概要

5・1 全室での一般規則

この章で説明をする全室（メイン・ホール、カレント・ルーム、ミディアムズ・ルーム、エンティティズ・ルーム、診療室）にいる間は、どうか、静粛を遵守されることと、両腕・両足を組まないこと、そして座っている間は両目を閉じるようお願いいたします。時と場合によっては、カサで皆さんのお世話をするスタッフの人達から特別に指名され、呼び出される時がありますが、それ以外は、セッション中に立ち上がったたり、目を開けないで下さい。

時折、エンティティは皆さんに目を開けて心霊治療・手術の様子を見て頂くチャンスを与えます。このような場合はポルトガル語か英語でスタッフの人がお知らせします。

列に並んでいる間、歩いている間は、他の人達を尊重し、押し合わないようお願いします。特にカレント・ルームで集中して座っている人達（ミディアム達）に細心の注意を払って下さい。エンティティはミディアム達のエネルギーを利用して、治療・援助活動をするので、ミディアム達に動揺を与えることは、エンティティの治療・援助活動の妨げになるのです。どうか、一般社会通念は時として、目に見えない精神世界のプロセスでは通用しないということを忘れないで下さい。

泣いている友人をとっさに抱き締めたり、良く知っている人の肩や背中を激励する為に叩いたりしたくなったとしても、それはその人達のプロセスを中断・妨げになります。もし、あなたが誰かに触れようとする場合は、少なくともその人がそれを求めているかどうか、歓迎しているかどうかを確かめてから行動される分別を持たれて下さい。

5・2 メイン・ホール

メイン・ホールは毎週水曜日・木曜日・金曜日の午前8時と午後2時から始まるセッションに参加される人達が集まる場所です。ステージの上ではスタッフの人が、セッション前のお祈りを始めます。カサへ初めて来られる方への手順の説明、及び新しい連絡事項等も皆さんにこの場でお伝えします。通常、カサを長年知っている方達をお呼びして体験談を披露して頂いたり、啓発的な話題についてお話しします。時折、ジョアオが登場し皆さんの目前でエンティティを体に編入・合体させ、メインホールから数人を選び、心霊治療を施したり、エネルギーを与えたり、祝福のメッセージを直接伝えたりすることがあります。もしあなたが、このような光栄な場面に立ち会う事が出来た場合、その最中はいくらでも両腕・両足を組まないようお願い致します。この時点でカレントルームに入室する列が組まれます。まず、心霊治療を予定されている方のための『インターベンション・ライン』から始まり、エンティティが次に続く列を呼び出していきます。

5・3 第一カレントルーム/ミディアムズ・ルーム

第一カレントルーム/ミディアムズ・ルームはメインホールから最初に入る部屋です。エンティティによって呼ばれた人達が列に並んでこの部屋を通る時、この部屋にすでに座っているミディアム達は入ってくる人達の持ち込むエネルギーを浄化する役目を割り当てられています。この浄化作業は訪問者がエンティティとの面会の準備をする、とても大切な役割です。この部屋に座れる条件は、エンティティがあなたにこの部屋に座る様に指示された場合、もしくはあなた自身がエンティティに最低一度会い、あなたがエンティティから託された課題を済ました後です。（課題：診療を受け、必要な休息を取る事）

この部屋に座る場合、居心地が良いと感じる場所を見つけ、両手・両足を組まず、両目を閉じ集中して下さい。もしできるなら、この部屋にいるグループのエネルギーが行き渡る為のお祈りと心想の誘導をされるスタッフの人の指示に注意を向けて下さい。そして、ここで与えられた浄化の役割りを果たされる様をお願いします。

もし、あなたがスタッフの人の口頭指示から余りにもかけ離れている感覚がして、とてもついて行けそうにない場合は、あなたに与えられる更に深い指示を、あなたのハイヤーセルフから信頼して聞き、お祈りと心想の過程を展開させて下さい。エンティティ達は私達と常に共にいて、必要な時はいつでも私達の手助けをしてくれます。ですから、必要な場合はあなたの心の中で援助を求めることを覚えておいて下さい。

もし、飲み水を必要としたり、トイレに行きたくなった場合は、両目を閉じたまま静かに手を上げて下さい。スタッフの人が誘導します。

5・4 エンティティズルーム

この部屋ではジョアオの体に降臨・編入しているエンティティが訪問者と面会し、それぞれにどうして良いかを提言します。この部屋はエル字型で二部屋に分かれていて、それぞれの部屋はエネルギー的に若干違った役割を持っていますが、二部屋ともエンティティズ・カレント・ルームと呼ばれます。このエンティティズ・カレント・ルームに許可されて座るには二通りの方法があります。

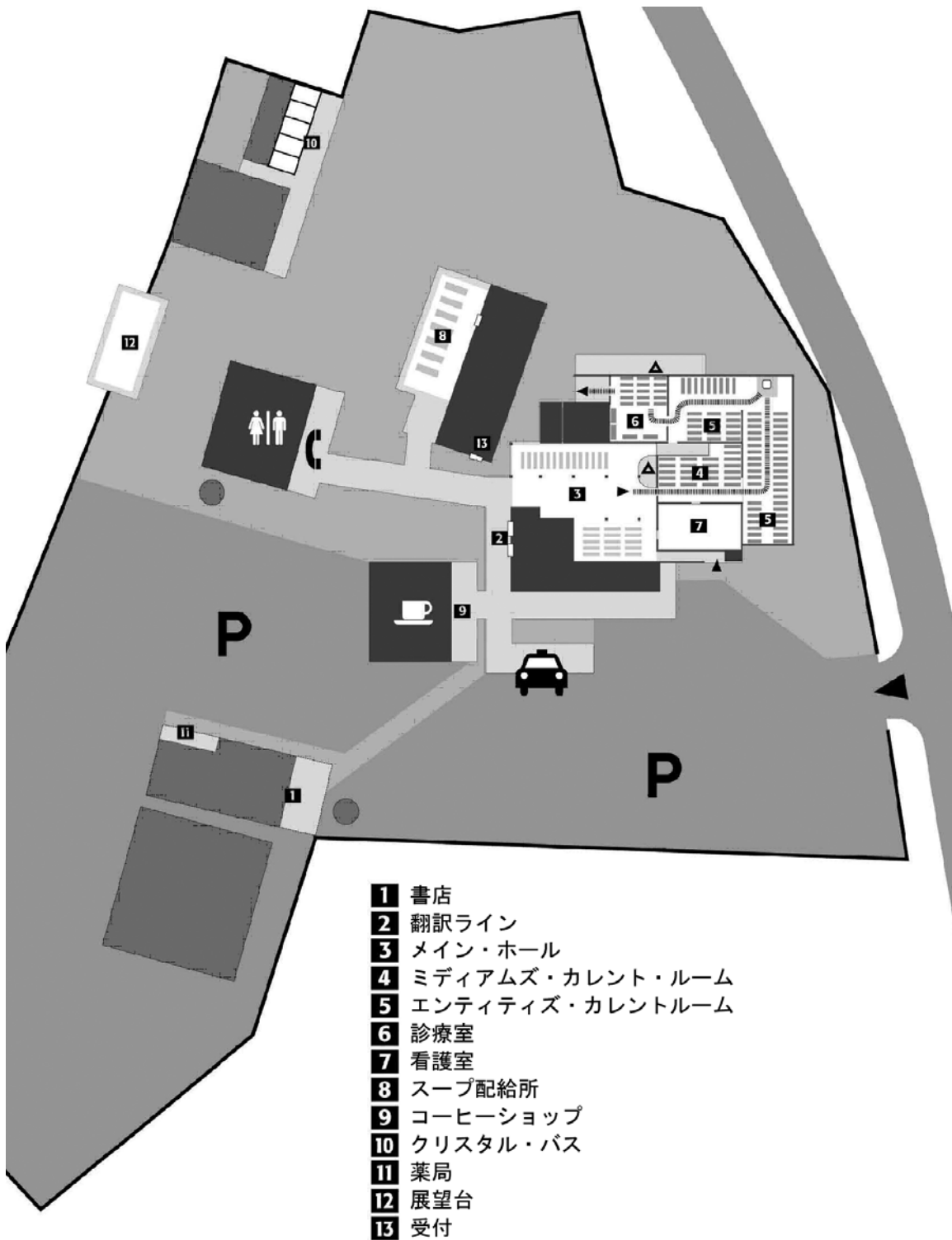
一つ目の方法は、列に並んでエンティティと面会した後に『座りなさい。』と指示された場合。そして、エンティティに特別に許可されない限り、エンティティズ・カレント・ルームには『一日』だけ座ることができます。すなわち、『座ってよろしい。』と言われたセッションの時とその次のセッション、合計二回のセッションにわたって座って良いのです。例えば、あなたが木曜日の午後にエンティティと面会し、エンティティズ・カレント・ルームに座るように許可されたとします。この場合、あなたは残りの木曜日の午後のセッションと金曜日の午前中の二回のセッションにわたって座ることが出来ます。金曜日の午後はエンティティズ・カレント・ルームに座ることは出来ないので、再度列に並んで許可を得るか、ミディアムズ・ルームに座って下さい。

もう一つのエンティティズ・カレント・ルームに座る方法は、エンティティがあなたを『カサの息子・娘』と認定した場合です。この場合の詳細は第十章を参照して下さい。

皆さんに認識して頂ければならないとても重要な区別がエンティティズ・カレント・ルームの一つあります。このエル字型の小さい部分の部屋にはエンティティに面会した直後の人達だけが座れます。ですから、午前中のセッションで小さい部分の席に座るように言われたとしても、午後のセッションではエル字型の長い部分に座らなければいけません。

こうする理由は、エンティティズ・カレント・ルームにセッションの最初から集中して座っているミディアム達が、エンティティとの面会を終えてエンティティズ・カレント・ルームに座るように指示された人達がやって来る度に席を譲る為に動く必要が無いからです。

5・5 施設の見取り図 (2006年1月現在)

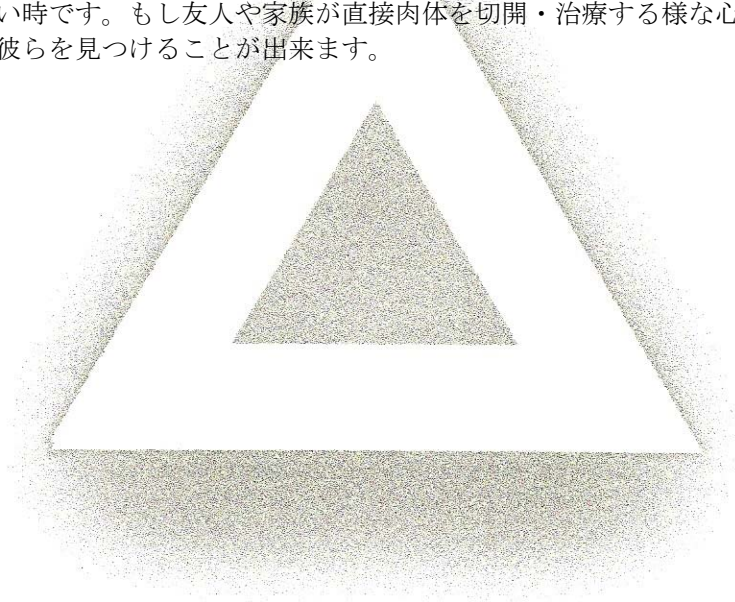


5・6 診療室

この診療室にはエンティティズ・カレント・ルームの最後の扉を通して入室します。この診療室ではエンティティが心療・心霊手術・治療を行なう所ですが、また Spiritual Passes を施すところでもあります。（Spiritual Passes の詳細は Alan Kardec の “The Medium’s Book “ を参照下さい）エンティティによって診療の予定を前もって告知された人のみが、診療の列（インターベンション・ライン）に並び、入室、着席、そして、診療を受けます。もし、あなたが初めての訪問者列（ファースト・ライン）もしくは再訪問者列（セカンド・ライン）にいて、エンティティが面会の後に診療室に座るように指示したとします、そして、あなたが以前に診療を受けたことがない場合は、例外としてどのようなルールにも従う必要はありません。幾人かのミディアムの人達はこの診療室で治療の手助けをすることが許可されますが、これはエンティティが特別に口頭で具体的な指示をされた時のみに限ります。もし、あなたがこの診療室の入室許可が下りているどうか、はっきりしない場合は入室できません。

5・7 付属看護室

この部屋はメインホールからステージに向かって右側にあります。視覚治療を受けた人達、またはカサのエネルギーに圧倒され一時的な看護が必要な人達がこの部屋に回復する為に案内されます。くれぐれもこの部屋に入室もしくはドアをノックしないで下さい。もし、あなたがその部屋にいる理由があれば、それはあなたが知らない間に運び込まれ、気を取り戻し、どこにいるのかすらも分からない時です。もし友人や家族が直接肉体を切開・治療する様な心霊手術を受けた後は、この部屋で彼らを見つけることが出来ます。



第六章 基本的な診察と治療の行程

6・1 まず初めに

さて、あなたは遠路はるばるカサにやって来て、今日が第一日目の朝です。もし、あなたがグループで来られた場合は、グループリーダーがこの章で説明する殆どの説明をすることでしょう。しかし、単独で来られた方は、考えている事柄やリクエストを要点を押さえて簡潔な見解にまとめて、エンティティに提示する準備をする必要があります。

訪問者がエンティティに面会する時間は各々に約2秒間なので、あなたが本当に何を尋ねたいかははっきりさせておくことがとても重要です。訪問者は、生活状況・人生の方向性・経済的状況・健康・体調、感情面、精神面等について援助を求めることができます。これは、あなたの日常生活・人生の中で変えたい事柄をエンティティに全部洗濯してもらって、解決してもらうことではありません。あなた自身ではどうしても対処出来ない、時と場合によっては生死にかかわる様な重大なことについての援助を求めることなのです。ですから、援助を得た後もあなたがすべき事柄はあなた自身がする必要があることを、どうか覚えておいて下さい。

そして、もしあなたが15の質問をして、エンティティが一つだけ答を返したとします。それが、どの質問に対する答なのかあなたには分かるでしょうか？ あなたは、ご自分が実際にすべき事柄を把握されているでしょうか？ 質問の要点を簡潔にされ、最も重要な事柄を質問をされて下さい。

6・2 トランスレーション・ライン

現時点であなたがエンティティに何を尋ねるかハッキリしました。次は、その質問・課題をポルトガル語に翻訳する必要があります。日本人の方は英語で内容を説明、もしくは明記してからポルトガル語に翻訳をしてもらいます。毎回のセッション前に、コーヒーショップの前にある二つの窓口に一列になって並びます。これが、翻訳の為の列（トランスレーション・ライン）です。

一名～二名のカサの公認翻訳者が訪問者に一人ずつ会って、内容を英語で確認した上でそれぞれの質問をポルトガル語に翻訳します。これらの質問は一枚の紙に書き写され、エンティティに面会する際に、エンティティの脇に立っている通訳者に手渡します。通訳者がポルトガル語の返答を取り次ぎ、英語でその内容をあなたにお伝えします。

6・3 ミディアムズ/カレント・ライン

翻訳がされている間、もう一つ別の列が第一カレントルームに向かって出来ます。この列は、第一カレントルームとミディアムズ・ルームに座ることを希望する人達の列です。この部屋に通じる戸は午前中のセッションは午前7時45分、午後のセッションは午後1時45分にそれぞれ遅滞なく開かれます。そして戸は、午前のセッションは7時59分、午後のセッションは午後1時59分に閉まります。もし、遅刻した場合はカレントルームに座ることは許可されません。必ず時間通りに到着されるようお願いいたします。

6・4 インターベンション・ライン

インターベンションラインの列に並ぶ指示がステージからかかります。エンティティとすでに面会し、心療・心霊治療が具体的な時間に予定された人達のみがこの列に並びます。（もし、あなたが金曜日の朝8時に治療が予定された場合、金曜日の朝の列に並びます）

ちなみに、エイト・オクロック・ラインとエイト・オクロック・インターベンションラインはそれぞれに別々の列です。ですから、これらの二種類の列の名前と、エイト・オクロック・ラインが実際に列を作る時間が午前8時25分であったり、時々それ以降になる時があることに注意して下さい。

6・5 ファーストタイム・ライン

もしこれがあなたにとって初めての訪問で、今までにあなたの写真をカサに送ったり、カサからハーブ系サプリメントを送ってもらったことがない場合、あなたはこの列に並びます。まず、敷地内の書店で『First Time』のチケットを受け取って下さい（無料です）。

そして、ファーストタイム・ラインの指示が来るのをメインホールで待って下さい。

エンティティに面会する際、診療の予定・サプリメント・カレント・ルームに着席・または、これらの複合的な指示を受けます。この時、あなたに何を伝えられるか細心の注意を払って聞き取って下さい。この時点での指示がこれからのカサでのあなたのスピリチュアル・ジャーニーを決定します。

通訳をされる方は多数の人のお世話をするので、後から尋ねても、それぞれに何を伝えたか覚えていません。ですから、たとえエンティティからの指示・メッセージをあなたが完全に理解しなかったとしても、あなたに伝えられたことを、その時点で覚えておくことはあなた次第であることを忘れないで下さい。

6・6 セカンドタイム・ライン

もし、この人生であなたがエンティティに面会したことが一回以上あり、（実際に面会したこと・写真を送付した事がある場合）再度、訪れた場合、あなたはこの列に並びます。敷地内の書店で『Second Time』のチケットを受け取って下さい。そして、セカンドタイム・ラインの指示が来るのをメイン・ホールで待って下さい。エンティティに面会した際、伝えられた内容をあなたが理解しているかを必ず確認して下さい。通訳をされる方は多数の人のお世話をするので、後から尋ねても、それぞれに何を伝えたか覚えていません。

6・7 エイトオクロック・ラインと ツーオクロック・ライン

時々、エンティティは『今日の午後に帰ってきなさい』、もしくは『2時に帰ってきなさい』、『明日の朝に帰ってきなさい』とあなたに言われることがあります。これは、インターベンション（治療・心霊治療）を意味するものではありません。これは、現在ジョアオに降臨しているエンティティがあなたの課題の手助けをする担当・専門ではなく、あなたの課題を適切に対処できるエンティティに後程面会して頂く為です。

セッションに戻って来られる場合、午前のセッションの場合は『エイト・オクロック・ライン』、午後のセッションの場合は『ツー・オクロック・ライン』の列に並んで下さい。これらの列に並ぶにはチケットは不要です。また、例えば水曜日の朝にエンティティから『明日の朝に戻って来る様』に言われた場合、水曜日の午後は第一メディアムズ・ルームに座ることが出来ます。

6・8 リビジョン・ライン

この列は既に心療・心霊治療・手術を受けた人達が、治療後の経過、回復の様子をエンティティが検診・確認する為のものです。治療・手術を受けてから第8日目にこの列に並びます。（例：木曜日の午後2時に治療を受けた場合、あなたのリビジョンは次週の木曜日の午後2時です）書店で『Revision』チケットを列に並ぶ前に受け取って下さい。この列が組まれ、エンティティに面会し、補足的に更に必要な手当が必要かどうか治療後の診断を受けます。

6・9 スープ・ライン

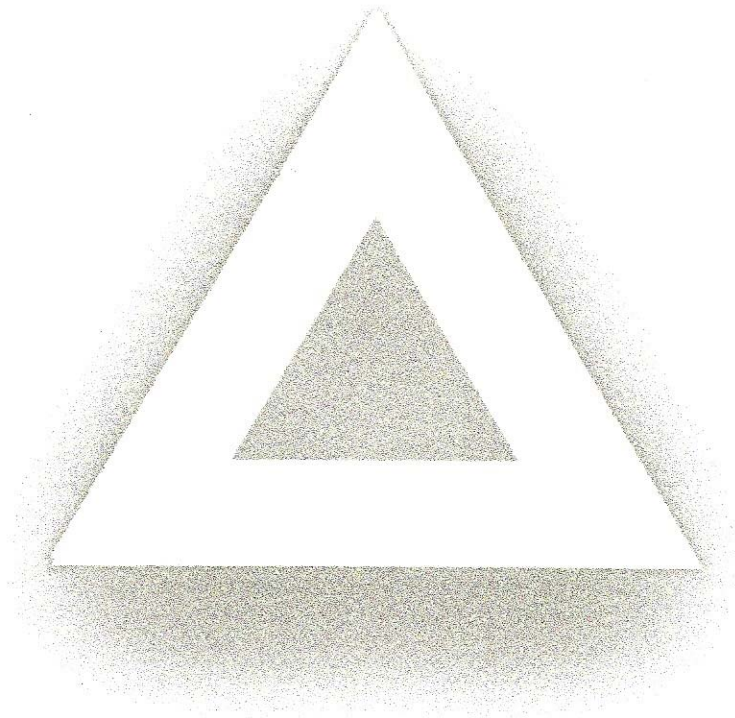
午前のセッションの終わりに、カサは全ての参加者にスープを配給します。このスープは治療の一部です。メインホールの外側に列が組まれ、それに並んでスープを受け取って下さい。この日の午前中にインターベンション（心霊治療・手術）を受けた人はプサダに帰られ、プサダの人にスープを持って来て頂く様に頼まれて下さい。治療直後は絶対に列に並ばないで下さい。

6・10フェアウェル・ライン（送別の列）

毎セッションの終了時、帰路に発つ人達やその日エンティティに面会されなかった人達はエンティティにお別れの挨拶をすることが出来ます。このフェアウェルラインはカレントルームの中で、ポルトガル語と英語によって知らされます。

この送別の列は新しい質問や写真をエンティティに託す為のものではありません。もし、相談されたいことや家族・友人・知人の写真等を渡されたい場合は再び『セカンド・ライン』に並ばなくてはなりません。

フェアウェルラインのお知らせがされた時、参加されたい方は手をあげてください。そうすると、カレントルームのスタッフの人が面会を希望する人数を数え、それに応じて手筈を整えます。エンティティズ・ルームではスタッフの人が混雑を避ける為、希望者を部分的に引率し始めます。あなたが座っている部分に列に並ぶよう指示が来るまで、根気良く待たれる様お願いします。



第七章 診療（インターベンション）

7・1 その意味合い

エンティティがあなたに心霊治療の予定を組みます、そうすることがあなたの懸念されている問題を解決する最良の方法だとエンティティが判断するからです。これは現時点の身体的病気を消散する診療行為、今後の健康問題を消散させる為にあなたのエネルギーに影響・作用を与える診療行為、又はあなたの人生の課題や使命に影響を及ぼしている精神的な事柄を取り除く診療行為とすることが出来ます。ともあれ、あなたにエンティティの心霊診療を受ける予定が組まれた場合、これから下記の事項について知っておく必要があります。

7・2 準備の仕方

エンティティの心霊診療を受ける準備の為の特別なルールはありませんが、診療当日・診療前にたくさん食べ過ぎないように注意して下さい。また、身体に負担のかかる作業〔運動〕、精神的緊張、過度の社交、おしゃべりも慎んで下さい。エンティティの心霊診療を受けるにあたり、内省的（内観的）になり、あなたがエンティティにお願いした支援の内容について心の中で見つめ直すのに良い機会とも言えるでしょう。この際、あなたの課題に関係する色々な感情やイメージ等を書き留めて下さい。当日はカサに平穏な心地・安らかな気持ちで到着されるよう努めて下さい。そうすることによって、診療の際の集中力を促進させることが出来ます。

腕時計はしないで下さい。腰周りをきつく閉める服装や、心臓部分を圧迫・巻きつけるもの等は避けて下さい。そして、数多くの所持品（カバン・バックパック等、その他）を持参しないこと。自室の鍵、プサダに帰るタクシー代とサプリメントを購入するお金だけは忘れずに持参して下さい。

7・3 インターベション・ライン

メインホールの診療の列に並びますが、しばらく待たなければなりません。この間の時間はエンティティと神に対してあなたが手助けを願う内容について、新たな気持ちで祈る絶好の機会です。入室の指示が来るまで、私語を慎み、自らの内側を静かにされるよう努めて下さい。

7・4 インターベション（診療）

インターベション・ラインの整列の指示が出た後、予定者は診療が行なわれる診療室に案内されます。着席し、身体に負担のない姿勢をとって下さい。両目を閉じ、右手を診療をお願いしている部分に当てて下さい。もしあなたにとって診療治療が何の為か分からない場合、もしくは一つ以上の事柄を抱えている方は、右手を心臓の上に当てて下さい。これらの説明は診療前に英語とポルトガル語で繰り返されます。

診療前にサプリメントの処方箋を受け取りますが、服用の仕方は第八章の『ハーブ系サプリメント』を参照して下さい。診療の間、約10分～45分は無言で着席して下さい。

スタッフの人がお祈りを導いている間は、自分の内側に入り（内観）、この過程に身も心も全てを委ねるよう努められて下さい。何人かの人達は診療中、何かに触れられた感触、縫合されている感触、熱いものを感じたり、とても感情的になったりしますが、幾人かの人達は全く何も感じない場合があります。これらの全ての感触は正常で、それぞれの違いは診療の結果に影響を及ぼすものではありません。

7・5 診療後

診療室の出口に案内され、引き続き診療後にすべき事柄について説明が所定の場所で行なわれます。この説明を注意して聞いて下さい。あなたは診療中、何も感じていなかったはずなのに、今になって元気になったとしても、それはあなたの身体に際立った変化が起きたという事ではありません。スピリチュアル・エネルギーの作用で陶酔感を感じるかも知れませんが、くれぐれも

診療後のルールを気をつけて守り、病院の手術室から出てきた直後と全く同じ様に身体を労わって下さい

7・6 診療後のガイドライン

休息・休養・睡眠・静養・保養、そして休憩し、更に休養

タクシーでああなたの回復室であるプサダへと帰られ、最低24時間絶対安静されて下さい。必要であれば更に休養されて下さい。この間、絶対に重たいものを持ち上げないこと、直射日光に当たらないこと、おしゃべり・社交厳禁、テレビ鑑賞・電話・コンピューター・読書・筆記・音楽鑑賞・写真閲覧・散歩、これらの全てはできません。ベッドに戻って睡眠をとって下さい。もし眠れないのであれば、眠ったふりをして下さい。食事は自分で起き上がって食べに行きそのまま脱線して2時間も会話をしてしまう危険を冒すより、友人またはプサダの人に部屋に持ってきてもらう様、頼まれることが最良の方法です。

メインホール 又は カレントルームに24時間以内に戻らないこと

診療の後、あなたのエネルギー・フィールドはとても大きく開かれています。そしてその状態でメインホールやカレントルームに行くと、そこで他のたくさんの方の持ち込んでいる一連の行為・様々な感情にあなたは影響されてしまいます。もしあなたがこの24時間以内にクリスタルバスの予定があるならタクシーで行き、クリスタルバスを終えた後は、ただちにタクシーで自室の戻り『24時間』を終えるまで自室にいて下さい。

診療後一週間以内に旅立つ場合

決して、旅行カバン等を自分で持ち上げないで下さい。タクシーの運転手に持ってもらい、空港では同じく彼らに荷物をカートに積み変えてもらい、飛行機のチェックインの際は、飛行機会社の人に荷物をコンベヤーに載せてもらって下さい。くれぐれも前章で説明されたルールに従って下さい。(スポーツや激しい運動を8日間しないこと等々)

禁性欲生活は何日？

もしこれがあなたにとって最初の診療の場合、診療後、性交行為をパートナーがいるいないにかかわらず40日間、行なってはいけません。もしあなたが二度目の診療をこの40日間以内に受けた場合、8日間を加えて下さい。それ以上の日数は加算しません。これはいかなる性的刺激をしないことを意味します。もしあなたに性的欲求が起き上がった場合、診療の繊細なエネルギーの妨げとなります。これはとても厳粛なことです。どうかあなたのパートナーにあなたがこのルールを守れるよう、協力をお願いして下さい。このルールを破り、状態・容体が悪化して、アバジャイナに慌てて引き返す人達がたくさんいます。性的活力の高まりは、とても強力なエネルギーで、あなたの中で起こっている精妙な過程に影響を及ぼします。

7・7 リビジョン (検診)

あなたの診療後、第7日目の夜(もしあなたが水曜日に診療を受けたなら、火曜日の夜。もし診療が金曜日なら、木曜日の夜)真夜中になる前に上下白い衣服を着て就寝して下さい。そして、午前5時前に起床しないで下さい。就寝前にカサの波導水をベッドサイドのコップに注ぎ、ドン・イナシオ・デ・ロヨラに全てのスピリチュアル縫合を取り除くよう、そして、あなたの診療が完結される様をお願いして下さい。翌朝、起床された後、感謝のお祈りを捧げ、そのお水を飲んで下さい。アバジャイナにあなたがいるいないにかかわらず、この行程をされて下さい。

もし、あなたがアバジャイナにいる場合はその次の日のリビジョン・ラインに並ばれて下さい。もしあなたがアバジャイナにいても、今度次の機会にアバジャイナにやって来る時は、まずこのリビジョン・ラインに並ばれて下さい。この際、あなたはセカンドラインや他の列に並ぶのではなく、まずリビジョン・ラインに並ばなくてはなりません。

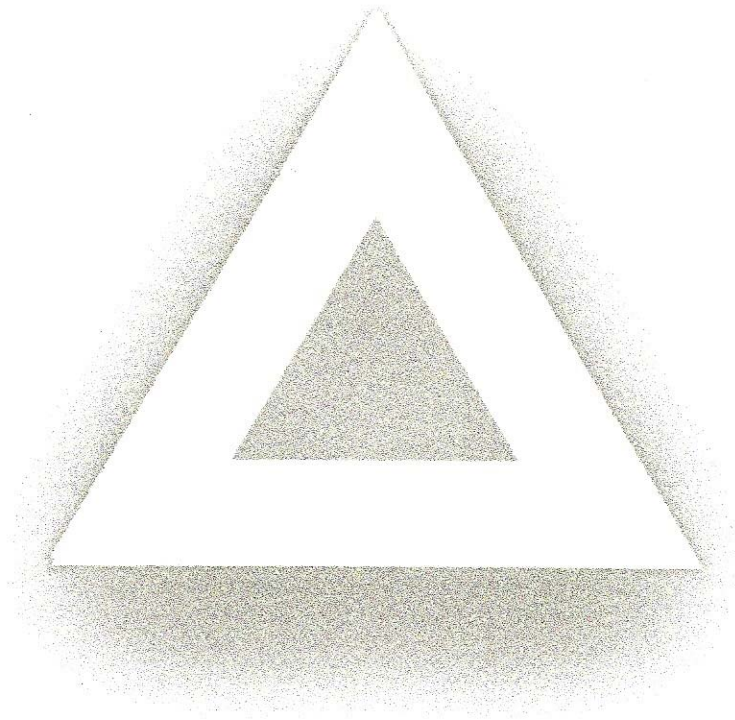
7・8 特殊な場合の診療

目・眼球の検診

もし、あなたが目に関する診療を受けた場合、それが可視診療であれ、不可視診療であれ、通常の診療のルールに従うのに加え、読書・筆記・テレビやコンピューターは8日間差し控えて下さい。

代理診療

もしあなたが診療の間、誰かの代理を務める場合、全ての通常に受ける診療のルールに従い、診療の間、写真にあなたの手を置いて下さい。それから、診療後のガイドラインに従って下さい。残りのセッションは休憩し、その次のセッションにだけカサに帰って来て下さい。



第八章 ハーブ系サプリメント

8・1 パッシフローラ

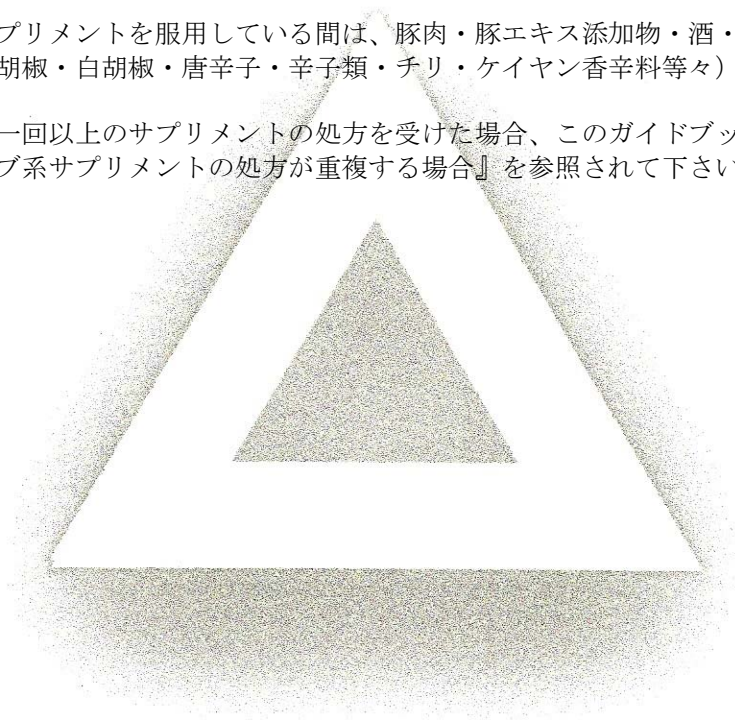
カサのハーブ系サプリメントの主成分は『パッシフローラ』から調合されています。これは英語名の『パッション・フラワー』と呼ばれる実のなる植物の花と葉の部分の挽いて粉末にしたものです。このサプリメントには医療的価値はありません。このサプリメントは一般ハーブ茶とほぼ等しい同値の作用と言えるでしょう。このサプリメントの効力はエンティティが各々に服用される人に設定した必要なエネルギーです。このサプリメントはあなただけの為にあり、他の人には効力を持ちません。

『購入法と服用方法』 このサプリメントはカサの敷地内にある、薬局の窓口で購入することができます。薬局は書店と同じ建物に併設されています。一日3粒・3回に分けて食前に服用します。ひとつの容器のサプリメントを使い切るまで、次の容器を開けないで下さい。

8・2 食生活

このハーブ系サプリメントを服用している間は、豚肉・豚エキス添加物・酒・アルコール類全般・胡椒類（黒胡椒・白胡椒・唐辛子・辛子類・チリ・ケイマン香辛料等々）を控えて下さい。

もしあなたが、一回以上のサプリメントの処方を受けた場合、このガイドブックの『付録F ハーブ系サプリメントの処方が重複する場合』を参照して下さい。



第九章 その他の重要事項

9・1 波動水

滞在中はできる限り飲水して下さい

カサを訪問中は、できる限り沢山の波動水を飲んで下さい。これはあなたの治療過程の一部であり、治療効果を一層高めます。この水はカレントルームで週3日のセッションを通して祝福の波動を与えられ聖水になります。この波動水は書店にて普通の飲料水と同じ価格で購入できます。

自宅に持ち帰って下さい

帰路に就く時、この波動水を持ち帰って下さい。この波動水を自宅の飲料水を加えて、お祈りを捧げることによってカサの波動が飲料水に延伸し、長期間波動水として持続します。

注意：飛行機に乗る場合、波動水の入った容器を機内に持ち込む手荷物に入れると、空港のチェックポイントで没収される恐れがあります。

9・2 スープ

カサで配給されるスープは治療過程の一部です。このスープにはスピリチュアルな経験を一層高める・深める、エンティティのエネルギーが浸透されています。エンティティは参加者の人達に治療過程の一部として、必ずこのスープを食べるよう常に言われています。スープの中身は薄口に味付けされた、パスタの入った各種の野菜です。

9・3 クリスタル・ベッド

クリスタル・ベッドはあなたがエンティティと一緒に取り組む、もう一つの治療作業です。あなたにエンティティからの癒しが施されるよう協力して下さい。このクリスタル・ベッドのセッションはあなたが自発的に受けることが出来ませんが、エンティティから勧められて受ける場合もあります。クリスタル・ベッドは少額の有料制です。このセッションは書店にて申し込まれ、予約を取られて下さい。

予約の時間に到着されると、ベッドの上に仰向けに寝るよう案内されます。この際、宝石類・めがね・腕時計・金属製品・身体を締め付けるようなもの（ベルト等）を取り外されるようお願いいたします。あなたの寝ているベッドの上には七つの色のついた水晶が吊るされています。これらから、あなたの七箇所のチャクラ・ポイントに焦点を合わせた光が発せられます。両目を閉じ、リラックスして流れてくる音楽に浸って下さい。このセッションは20分間です。エンティティは一回から数回のセッションを受けることを勧めています。

9・4 聖滝

カサの聖滝はポルトガル語で『カショエイラ』と呼ばれています。エンティティはあなたがこの聖滝にいる間、あなたにとって必要な癒しを施します。この聖滝への入場はエンティティの明確な許可によって厳格に制限されています。男性と女性は別々に入滝し、たった一人で入滝することは絶対に出来ません。入滝する前に、エンティティから施し・癒しを受ける為のお祈りと祈願をして下さい。そして、感謝の祈りと共に退滝をして下さい。

初めて入滝される方は聖滝に来られた経験のある人と一緒に行かれて下さい。これは、エンティティが定めたルールです。聖滝では、全裸・ロウソク・線香・石鹸・写真撮影・ビデオ撮影・録音は全て禁止です。この場所はカサの敷地の一部分です。尊敬の念を持って入場されることをお願いします。聖滝に来られた際、記念品として聖滝付近の石・クリスタル・花等を持ち去らないようお願いします。聖滝には他にもたくさんの方が訪れるので、聖滝での時間を制限されることをお願い致します。

9・5 プレイヤー・トライアングル（三角祈願所）

メイン・ホールの正面の壁と庭園側の壁に大きな木製の三角形があります。この三角形の底辺には訪問者が持ち寄った写真や手紙が投函されます。この三角形はお祈り・数々の必要性・援助・あなたが親愛されている人達への祝福やお願い等をエンティティに伝える場所です。ここでは、訪問者が手紙や写真を添えてから額を三角形に当てて数分間お祈りしている様子を見ることが出来るでしょう。

ステージが空いている時はいつでも来られて、お祈りを捧げて下さい。三角形には履物を脱いでから近付き、一時おいて考えをまとめてから、手紙や写真を添えることをお勧めします。それからあなたの額の部分を三角形に当て、お祈りを始めてからしばらくは身と心をエンティティに委ねて下さい。

お祈りが終了した後、再び自分自身に戻り、残りの一日を過ごして下さい。
この時、脱いだ履物をお忘れなく！

9・6 ロザリオ

毎晩8時からポルトガル語のロザリオ（カトリック用語『聖母マリアに捧げるお祈り』意味しますが、カサではドン・イナシオを含め、全ての万物にお祈りを捧げます）がメインホールで行なわれます。皆さんが来られることを歓迎します。ご自分のお祈りを深められたい・強めたい方には、とても良いお祈りの実践の機会です。

9・7 家族、友人、知人の写真

エンティティは来られない方々にも遠隔で手助けすることが出来ます。遠隔診療・援助を受け取る方法は、希望する本人の写真や第三者に持って来てもらい、エンティティに提示してもらいます。写真の裏側には、本人の名前・誕生日・住所・援助を求めている具体的な事柄・病状/病名を書いて下さい。もし、写真の当の本人がカサのハーブ系サプリメントの服用を希望しない場合、エンティティからのご加護が遠隔で本人に届けられる様、三角形に本人の写真や捧げると良いでしょう。あなた自身が治療を受けている最中は、あなたの治療が一段落するまで他の人の写真の提示を待つのが賢明です。あなたに準備が出来た場合、**セカンドタイムライン**に並ばれて、写真をエンティティに提示して下さい。

エンティティは各々の写真を分析し、必要な方にはハーブ系サプリメントを処方します。この際、もしあなたが一枚以上の写真を持参された場合、それぞれに処方されたサプリメントを混合しないように気をつけて下さい。セッション後、サプリメントを購入し、あなたが帰宅してからできるだけ早くサプリメントを届けて下さい。もし一枚の写真に複数の人物が写っていて、そのうちの一名だけがお願いをしている場合は、本人の頭上に矢印を書き込んで下さい。もし、エンティティが本人の写真の上に X マークをつけた場合、それは当の本人がカサに来る必要があることを意味します。この理由はエンティティのみが知っています。

あなたは、あなたが必要と思われる人達の写真をどれだけ持参されても結構ですが、覚えておいて頂きたいことは、もし18人分の写真を持って来られた場合、18人分のサプリメントを受け取ります。すなわち90個のサプリメントを（混合せずに！）旅行カバンに詰め込むこととなります。そして、帰国の際に税関を通過する際、これだけ大量のサプリメントを持参していると誤解を招く可能性もあります。ご考慮下さい。

9・8 書店

カサの書店ではクリスタル・書籍・波導水・ロザリーやギフト商品を扱っています。全てのクリスタルはエンティティの祝福を受け清められ、カサの波動エネルギーを伝える素晴らしい記念品になるでしょう。もし、持ち帰るクリスタルのエネルギーを更に促進されたい方はカレントルー

ムのセッションに持ち込む事が出来ます。あなた自身に買ったクリスタルにはエンティティに面会した際、クリスタルにエンティティの恩恵を個人的に入れるようお願いできます。

9・9 寄付金

カサは寄付金をメインホールと売店の壁にある寄付箱で受け付けています。カサのスタッフ及びボランティアの人達はカサの為の寄付金を受け取る権限はありません。もし、巨額の寄付金もしくは領収書を希望される方は、直接カサの所長もしくは代表者であるジョアオに連絡を取られて下さい。この唯一2名が、直接寄付金を受け取る権限をエンティティから与えられています。

スープキッチン等の特別事業はカサとは別々に運営され、この事業の責任者がこの事業に関する寄付金を受け取る権限を持っています。

9・10 ヒーリング行為、その他の治療処置について

他の種類のエネルギー治療法やヒーリング行為は各々の権限においてとても役に立ちますが、アバジャイナではエンティティの配慮・介護の下にあり、他のヒーリング行為・治療処置はあなたの治療を妨げることを覚えておいて下さい。霊気・心理療法（サイコセラピー）・タロットカード・手の平をかざす処置法・その他の種類のエネルギー・ワーク等々、エンティティはこれらの行為の実行、及びこれらの処置を受け取ることを禁止しています。

備考：触診技術 正式に訓練を受けた専門家による、車椅子の方達を対象にした血液循環や基本的身体機能を維持する処置は医療の一部として認められ、それらの行為は許可されます。

9・11 マッサージとボディーワーク

数名のマッサージ師やボディーワーク施術者は、エンティティによってアバジャイナで働く権利を与えられています。これについての詳細はカサのスタッフにお聞き下さい。

9・12 医療・治療中の方

もし、現在あなたが医師の治療を受けている場合、カサはあなたの医療顧問の指示に従われるようお願いいたします。カサでの処置はいかなる医療処置に抵触したり、取って代わるものでもありません。処方箋の服用や掛かり付けの医師の指示を変更したり、停止しないで下さい。

9・13 車椅子で訪問される方

カサは車椅子の方もアクセス可能です。アバジャイナでは、車椅子の方の為の個人的なお世話をする介護人は個人負担で雇うことが出来ます。これらの介護サービスの負担額は一般的に本人と一緒に連れてくる介護人よりも低料金です。これについての情報はインターネットで容易に得られます。

9・14 写真撮影、ビデオ撮影、インタビュー

写真撮影とビデオ撮影はカサの敷地とメインホールでは全く問題がありません。もし、あなたがカレントルームの中での撮影を希望される場合は必ずエンティティの許可を得なければなりません。そして、聖滝での写真撮影はいかなる場合でも禁止されています。

ジョアオとの写真撮影を希望される方は、金曜日の午後のセッションの後で裏庭にて撮影する機会があります。

ジャーナリストの方で、ジョアオに取材の予定を組まれたい場合、最低訪問30日前にカサに書式の申込書を郵送されるようお願い致します。

9・15 幼児・子供達

『ドン・イナシオの家』は全ての年齢の子供達を歓迎します。しかしながら、カサは子供達や幼児達の為の特別な施設・設備を提供していません。
子供や育児達のお世話が必要な方はご自分で手配・準備をしなければなりません。

カレントルームでは両親もしくは保護者と一緒にいる子供達を歓迎します。
スタッフの人達は子供達と一緒に来られる訪問者に出来る限りの手筈を整えます。

もし子供・幼児がカレントルーム内での診療過程の秩序を明らかに乱す場合は、退室をお願いすることがあります。このことは既にエンティティによって委任されています。もし、あなたがミディアムズ・ルームにいる場合は正面の出口から退室して下さい。エンティティズ・ルームにいる場合はインターベンション・ルームに行き、着席してスピリチュアル・パスを受け取ってから退室して下さい。

その他の理由でカレント・ルームから退室を希望される方は、手を挙げスタッフの誘導をお待ち下さい。

9・16 カサへの手紙・投書

カサへのご意見・ご要望・依頼はお手紙にてお願い致します。全てのご要望はエンティティに提示されます。全ての手紙には返信用の住所を漏れなく記入して下さい。カサのスタッフが返信します。

現在、カサは22カ国からのお手紙に対応しています。送られる手紙はポルトガル語・英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・イタリア語でお願いします。時折、エンティティは要望をされている当の本人に直接カサに来られる様お願いする事がありますが、それはその本人にとって何か恩恵的なものか、とても大切な内容の場合ですが、カサに来られるかどうかは本人の任意です。

第十章 カサの息子と娘達

10・1 その意味合いとは？

あなたにカサと精神的絆と使命があるとエンティティが判断し、あなたに対して公式に愛の結びつきが伝えられると『ドン・イナシオの家』の家族の一員になります。その時点であなたはカサの正式ミディアムです。これ以降、あなたは『カサの息子・娘』として認知され歓迎されます。カサがあなたの家となるのです。

10・2 何をする必要があるのでしょうか？

あなたはカサの運営局に行き、エンティティがあなたを『カサの息子・娘』として認知されたことを伝えなければなりません。あなたは運営局に個人情報と証明写真二枚を提出します。（この時点で証明写真の大きさを確認して下さい）。

必要書類を提出した後、申込書はカサの代表取締役によって署名され身分証明書が発行されます。

10・3 与えられる資格とは？

『カサの息子・娘』は座席が空いている時はいつでもエンティティズ・ルームに座る資格が与えられます。毎セッション前のミディアム/カレント・ルーム・ラインに列席することができます。そして、カサのミディアムとしてのトレーニングを開始する資格が与えられます。

あなたに資格の無い行為・活動

- 治療行為
- 両手をかざす行為（特に他のミディアムに対して）
- 指導行為・教授活動
- カサの手順や規則の簡約・もしくは近道行動
- 精神的過程や療法を有料で行なう行為
- この章に明記されている事柄以外の全ての行為

10・4 ミディアムとしての責任とは？

カサのミディアムとして要求される事柄

- 常に慈愛・謙虚・慈悲の念を持って行動すること。特にカサにいる間は遵守する。
- メインホール、療法中のカレント・セッションで静粛を遵守する。
- カサの全ての規則を遵守する。
- このガイド・ブックに精通し、訪問者に対して適切なアドバイスや手助けをする。
- カサのスタッフを熟知し、必要な場合に必要な担当者に導けるようになる。
- ジョアオのプライベートな時間を尊重し、あなたの要求や要望を制限する。

第十一章 他の人達・グループをカサに引率される場合

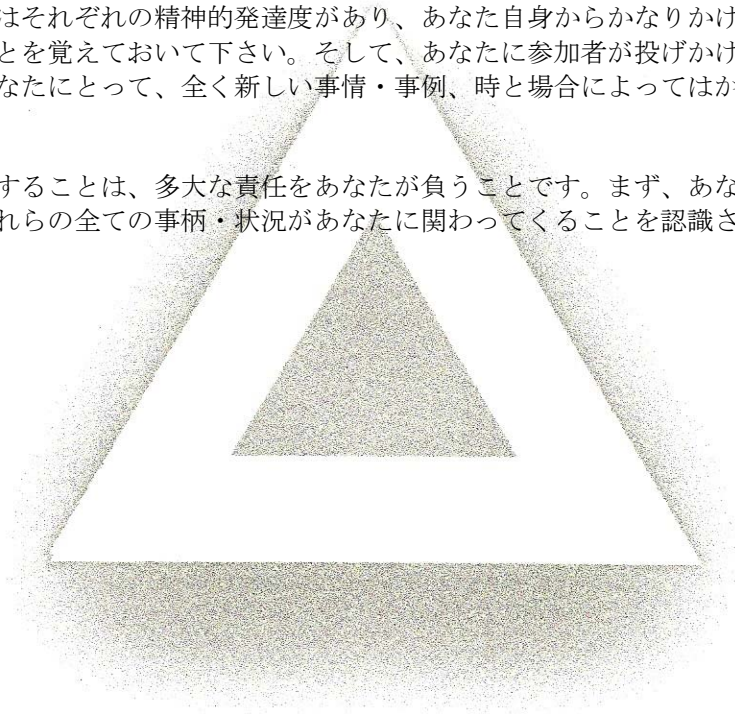
あなたがカサを訪問し素晴らしい体験をされ、同じ様にあなたの家族・友人や他の人達をカサに連れて来たいとします。もし、あなたが家族や親戚、または親しい友人と数人で再訪問するのであれば、多分あなたは多くの準備をする必要は無いでしょう。しかし、もしあなたがグループや団体をカサにお連れしたいと考えているのであれば、入念な準備が必要となってきます。

まず最初に、あなたはエンティティにグループを連れて来る許可と援助を頼まなければなりません。グループを連れて来る事はエンティティの許可無しで出来ません。思っている以上の大仕事になるので、あなたがエンティティの援助を必要とすることになります。

皆さんのお世話をするに当たって考慮すべき全ての事柄に加え、あなたがお連れする団体の参加者それぞれの期待や要望に対処しなければなりません。参加者全員にカサの規則と手順を説明し、あなた自身がここでの経験を通して皆さんの相談にのって下さい。

それぞれの人にはそれぞれの精神的発達度があり、あなた自身からかなりかけ離れている可能性があるということを覚えておいて下さい。そして、あなたに参加者が投げかけてくる質問や、直面する状況はあなたにとって、全く新しい事情・事例、時と場合によってはかなり難しい問題かも知れません。

グループを引率することは、多大な責任をあなたが負うことです。まず、あなたがグループを企画する前に、これらの全ての事柄・状況があなたに関わってくることを認識されるようお願いいたします。



付録

A 初めて訪れられる方の早見ガイド

- 1、毎週火曜日の晩7時から開催される訪問者の為のオリエンテーション（英語）に参加する。
- 2、カサの初日は朝7時30分頃に到着する。
- 3、書店に行き、チケットを受け取る。
初回の訪問者で今までに自分の写真をカサに送付したことがない方、またはカサからのサブ
リメントを以前に受け取った事が無い方>>>ファースト・タイム・ライン・チケット
(Primeira Vez)
以前に自分の写真を送付したことがある方、又はカサからのサブリメントを受け取った事
のある方>>>セカンド・タイム・ライン・チケット (Segunda Vez)
- 4、トランスレーション・ラインに並ぶ。コーヒーショップ（売店）の前で列が出来る。
あなたの事柄・必要性・要望などをポルトガル語に翻訳してもらい、紙に書いてもらう。
翻訳者と一緒あなたの懸念事項を明解にする。（もしあなたがグループで来られている場
合、あなたのグループ・リーダーがすでに懸念事項を明解にされていることでしょう。）
- 5、メイン・ホールに行き、あなたの列が呼ばれるまで待機。メインホールにいる間は、心を込
めた姿勢を保ち、両手・両足を組まないこと。着席しても起立した状態、どちらの姿勢でも
構いません。
- 6、あなたの列が呼ばれた場合、列に並び、案内されたとおりにカレント・ルームに入室します。
- 7、入室後、立っている間、静粛にされ、あなたの願望・事柄・病気に集中して下さい。
- 8、エンティティに面会する順番が来て、通訳係にあなたの内容を説明する前にエンティティが
あなたに必要な事柄を言い渡す事があります。これは普通のことです。あなたに言われた内
容を味覚に理解し、あなたがその内容を把握するまで立ち去らないで下さい。周りの人が後
で明確にする手伝いをしてくれるかも知れませんが、実際のところあなたしか具体的に何を
言われたか覚えていません。あなたの前にも後にも、何百人もの人が待っているというこ
とを忘れないで下さい。
- 9、もし、エンティティがあなたにどこかに着席するように言われた場合、スタッフの人の指示
に従い、座るように言われた席に座って下さい。両目を閉じ、目を開けないで下さい。
両手・両足を組まず、セッションが終わるまで集中して下さい。セッション終了後、聖水が
用意されます。ご自由にお飲み下さい。
- 10、室内の参加者が立ち上がる時、あなたも席から離れることが出来ます。聖水を頂き、静か
に退室して下さい。もしこれが朝のセッションの場合、そのままスープ・ラインに並ばれ
て下さい。質問がある方は、カレントルームの室外にいるボランティアかスタッフの人に
尋ねて下さい。カレントルームの閉室準備をされているスタッフに話しかけて、スタッフ
の迷惑にならないようお願いいたします。
- 11、配給されるスープは治療の一部です。その後は自室に帰り休息を取られて下さい。
昼食を取り、午後のセッションに備えて下さい。

- 1 2、カサは皆さんに出来る限りの私語やおしゃべりを慎まれることを勧告します。
あなたが必要としている質問をし、返答を受け取ることはご自由にされて結構ですが、その後の時間はあなたがここに来た理由・動機・目的に焦点を当ててください。
このことは、結果的に大きな違いを作ることでしょう。
- 1 3、このガイド・ブックを読み良く理解すると、カサでの殆どの質問に対する答が得られます。

B 診療が予定されました。どうすれば良いのですか？

- 1、あなたの予定された診療の最低15分前に到着して下さい。
- 2、インターベンション・ラインが呼ばれるまでメインホールでお待ち下さい。
- 3、診療室に入る列に続き、着席するように指示された席に座って下さい。
- 4、ポルトガル語もしくは英語の案内を注意して聞いて下さい。
- 5、両目を閉じ、あなたの手を患部に当てるよう指示されます。手の届かない部分や複数の部分の場合は心臓に当てて下さい。片手は膝の上に仰向けで無理のない姿勢で置いて下さい。
- 6、診療の間、両目を閉じあなたが癒してもらいたい部分や内容に集中して下さい。
静かにされ、これから起きるべき事が起きる様にされて下さい。人によっては何かを感じたり、見えたりしますが、人によっては何も感じなければ何も見えません。あなたが感覚でこれらのことに気が付く為の決まった方法はありません。ただただ診療のプロセスを心開いて受け取り、（頭で考えず）今起こっている出来事を信頼することで確実に必要とされていることが起こるのです。
- 7、診療が終了した後、起立され退室するよう案内されます。静かに退室され、診療後のオリエンテーションをされるスタッフを探されて下さい。そして、次にすべき事柄の説明が英語でされます。

C 診療後の養生法

- 1、スピリチュアル診療後は、病院での外科医による手術の後と同じ様に考えられて下さい。たとえ、現代医学的な過程を経験しなくても、聖霊があなたの身体と内臓器官に作用を与えています。ですから、休養を取る時間とこれらの変化を吸収する必要があります。
- 2、最低24時間の完全休養が必要です。
- 3、あなたのプサダにはタクシーで帰られて下さい。
- 4、ハーブ系サプリメントを自室に帰られたら服用して下さい。もしあなたがどのサプリメントを服用してよいか判断できない場合は、付録F『ハーブ系サプリメントの処方重複する場合』を参照下さい。
- 5、カサのスープをプサダの人か友人に自室に運んでもらう様に頼んで下さい。
- 6、横になり、できるだけ睡眠を取って下さい。
- 7、食事やトイレに行く時起き上がっても大丈夫ですが、その後はすみやかにベッドに戻って下さい。
- 8、メインホールやカレントルームに最低24時間は戻らないで下さい。（診療後のセッション2回分）カサに行くことすらお勧めできません。もし、クリスタルバスが予定されている場合は、クリスタルバスに直行し、終了後は真っ直ぐに自室に戻られて下さい。
- 9、体操・自転車・ダンス・散歩・日光浴等は最低8日間控えて下さい。
- 10、40日間は性交行為は出来ません。（もし、これが初めての診療で無い場合は8日間）これはパートナーがいるいないに関わらず、いかなる性的欲求を満たす行為は出来ません。
- 11、8日目にリビジョン・ライン（再検診）に戻って来て下さい。
- 12、もし、あなたが診療後アバジャイナを出発する場合、旅行かばんを抱えたり、運んだりしないで下さい。タクシーの運転手に取り扱うようお願いして下さい。飛行機の搭乗手続きをされる時も、預け荷物は飛行機会社の人にコンベアーに載せてもらって下さい。8日後に遠隔再検診の指示に従って下さい。
- 13、目の診療を受けた方は、読書・Eメール・テレビ・筆記は8日間お控え下さい。

D 再検診の受け方

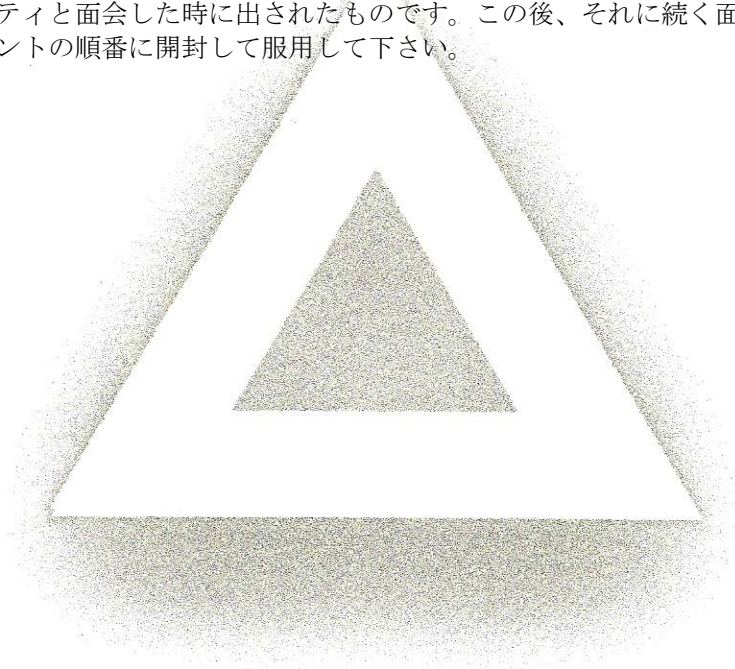
- 1、診療を受けてから第7日目にこの章の指示を実行されて下さい。
(もしあなたが水曜日に診療を受けた場合、第7日は次の火曜日の晩です。)
 - 2、ゆったりとした白色の衣服を着用して真夜中になる前に就寝して下さい。
 - 3、*ベッドの横にカサの波導水をコップに汲んで置いて下さい。
 - 4、ドン・イナシオに全ての心霊縫合を取り除くようお祈りし、7日前に受けた診療を思い出して下さい。
 - 5、最低朝の5時までベッドにいて下さい。(もし起き上がらなければいけない場合、所用の後直ぐにベッドに戻って下さい。)
 - 6、もし眠れない場合は、両目を閉じてリラックスした状態でベッドにいて下さい。
 - 7、朝、目が覚めた時、ベッドの横の水を飲み、ドン・イナシオに感謝して、『主の祈り』をお祈り下さい。
 - 8、もしあなたがアバジャイナにいる場合は、リビジョン・ライン(再検診の列)にあなたの診療の時と同じ時間に並んで下さい。(もし、あなたの診療が木曜日の午後2時だった場合、あなたの再検診は次の木曜日の午後2時です。)
 - 9、もしあなたがすでにアバジャイナを出発している場合、次回にカサに帰ってきた時はまず最初にリビジョン・ラインに並んで下さい。
- *もしカサの波導水が無い場合は、飲料水をコップに注ぎドン・イナシオにその水を聖めて下さるよう、お祈りをして下さい。

E カサが処方するサプリメントの服用の仕方

- 1、書店の裏側にある薬局でサプリメントが購入できます。
- 2、もしこれが最初のサプリメントの場合、直ぐに第一錠服用され、引き続き一日三錠を食前に、処方されたサプリメントが無くなるまで継続して服用して下さい。
- 3、このサプリメントを服用している期間中は、酒類・豚肉・豚肉エキスの添加物・胡椒類・チリ・唐辛子・ケイジャンペッパーの摂取は厳禁です。食べる前に何が入っているか気をつけてから召し上がって下さい。
- 4、サプリメントは一つの容器ごと使い切ってから次の容器を開けて下さい。
- 5、この行程を最後の錠が終わるまで続けて下さい。

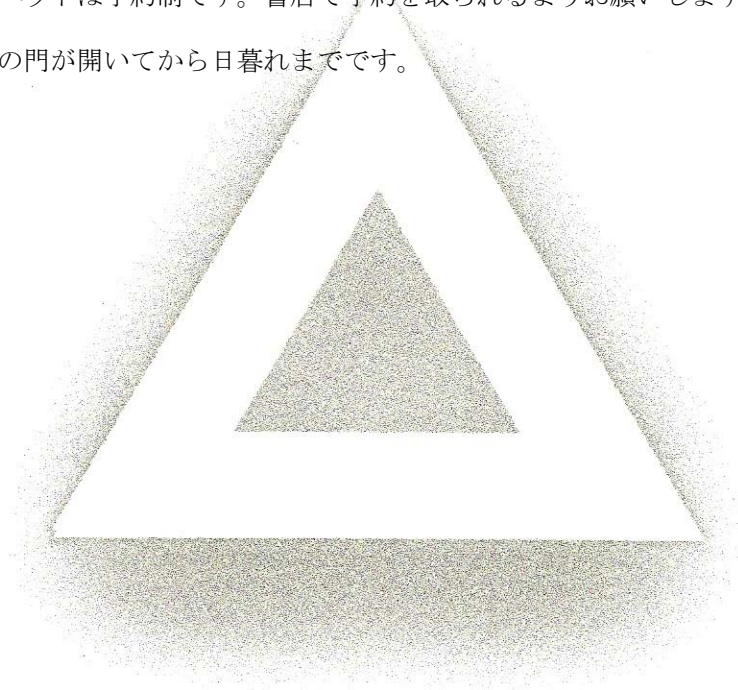
F サプリメントの処方が重複する場合

- 1、エンティティに会う前に第一回目のサプリメントの服用を始められ、エンティティと面会された時に、第二回目の別量のサプリメントがあなたに処方されました。この場合、第一回目のサプリメントを使いきってから第二回目に処方されたサプリメントの服用を始めて下さい。
- 2、エンティティに会う前に第一回目のサプリメントの服用を始められ、第二回目の別量のサプリメントを診療を受ける際に処方されました。この場合は、第一回目のサプリメントを停止し、診療の際に処方された第二回目のサプリメントの服用を開始して下さい。この第二回目のサプリメントを使い切ってから、第一回目のサプリメントを終了して下さい。
- 3、診療治療の際に第一回目のサプリメントを処方され、第二回目を面会の時に追加で処方された場合は、第一回目のサプリメントを使い切ってから、第二回目のサプリメントを開封し服用を継続して下さい。
- 4、もし、サプリメントを二回以上処方された場合は、最優先して服用するサプリメントは最初にエンティティと面会した時に出されたものです。この後、それに続く面会の際に処方されたサプリメントの順番に開封して服用して下さい。



G カサ内の各施設の運営時間帯

- 1、カサの門は毎日朝7時から晩9時まで開いています。
この時間帯内はご自由に敷地内を散策して下さい。
- 2、カレント・ルームは水曜日・木曜日・金曜日の午前7時45分から朝のセッションの終わりまで、そして午後1時45分から午後のセッションの終わりまで開室されます。
- 3、コーヒーショップは水曜日・木曜日・金曜日の午前6時半～午後5時まで。
- 4、書店の運営時間帯
月曜日・火曜日 午前8時～午後6時
水曜日・木曜日・金曜日 午前7時～午後6時
土曜日・日曜日 午前8時～正午12時
- 5、クリスタルベッドは予約制です。書店で予約を取られるようお願いいたします。
- 6、聖滝はカサの門が開いてから日暮れまでです。



H 聖滝

聖滝はカサの聖域です。聖滝がいつでも利用できるヒーリングの場所として保つ為、下記のルールがエンティティによって施行されました。

- 1、聖滝はカサの門が開いてから日暮れまで利用できます。
- 2、聖滝に行くにはエンティティから許可を受け取らなくてはなりません。
それ以外の人は聖滝に引率する許可を持った人に随行して下さい。
- 3、絶対に一人では行かないで下さい。必ず、誰か他の人と一緒に行ってください。
- 4、男性と女性は必ず別々に入滝しなければいけません。
- 5、聖滝の付近では静粛をお願いします。
- 6、カメラ・録音機材・再生機（CDプレーヤー・カセットテーププレーヤー・MP3等）石鹸類
線香・キャンドルの持ち込みは禁止です。
- 7、聖滝付近での、お供え物・祭壇は禁止です。
- 8、聖滝付近にある石・クリスタル・花・全ての物を動かしてはいけません。
- 9、聖滝付近では常に静粛をお願いします。
- 10、入滝前にお祈りを捧げ、エンティティにあなたに癒しを施されるようお願いして下さい。
- 11、速やかに入滝し、退滝して下さい。（他の人達が待っていることをお忘れなく。）
- 12、感謝のお祈りを捧げ、聖滝の訪問を終了されて下さい。
- 13、暗闇の時に聖滝に行かないで下さい。
- 14、他に来られている人達に敬意を払って下さい。聖滝に向かって降りる際、ゲートをあなたの後ろで閉めて下さい。終わって帰られる際にはゲートを開けたままにして下さい。
こうすることによって、次に到着される方が聖滝に行けるかどうか判断できます。
ゲートが閉まっている場合は、必ず手前のベンチ付近で静かにお待ち下さい。
- 15、エンティティは通常のルールとは非常に矛盾した特別な指示を与える場合があります。
これはとても非常に稀な場合に限られますが、エンティティが自発的に特別に取り決めたことです。これらのことはエンティティに決して頼むようなことではありません。
- 16、もしあなたが大きなグループと一緒にいかない場合はタクシーで行かれることが賢明です。

I よく聞かれる質問・問い合わせ

- 1、第一週目に最初の診療を受けました。そして、第二週目に二回目の診療を受けることになった場合、どれだけの期間、性的欲求を満たす行為は出来ないのでしょうか？

最初の診療から数えて40日間です。

- 2、最初の診療を39日前に受けました。そして今日次の診療を受けます。この場合は更にどれだけの期間、性的欲求を満たす行為は出来ないのでしょうか？

この様に重複する場合、最後の診療から数えて更に8日間です。

- 3、エンティティが心霊手術・治療を施すのですか？

『ドン・イナシオの家』は医療機関でもなければ、いかなる医療処置をも行ないません。カサはスピリチュアル・センターです。多くの場合、神の恩寵 (The Grace fo God) によって治癒や回復が生じる場所です。これらの数々の癒しはそのままらされる結果から、一般社会では手術として受け止められていますが、このことは『ドン・イナシオの家』での出来事やもたらされた結果を象徴するものではありません。

カサはここでのスピリチュアル体験によって体調に変化をきたす人達のお世話をする看護室（回復室）を完備しています。この看護室には、ブラジルの地方法・連邦法の規定で認可された公認看護師が常時待機しています。

- 4、カサにいる間、処方薬の服用をやめるべきでしょうか？

処方薬の服用は継続して下さい。カサはスピリチュアル・センターで、あなたの医療措置・投薬等を変更・服用停止等を勧告する権限はありません。これらの判断は認可された医療機関でして下さい。カサでの経験はあくまでもスピリチュアルなものであり、あなたのかかりつけの医師が勧告した医療措置のを阻止するものではありません。

- 5、ハーブ系サプリメントと処方薬を平行して服用できますか？

サプリメントはパッション・フラワーの粉末から調合されています。西洋医学薬的な効果はありません。処方薬と並行して服用しても拮抗作用がありません。このサプリメントはハーブ茶と同様の効果があります。

- 6、胡椒類は食べれないとなると、『わさび』は食べれるのでしょうか？

知っている限りでは、今までに『わさび』についてエンティティに尋ねた人は誰もいません。皆さんが周知の通り、わさびは刺激が強い食べ物です。あなたはここに他の場所では決して得られない治療に来ているのであれば、危険を冒してまでも食べるべきでしょうか？もしも食べ物の選択が疑わしい場合は、良識的に判断して下さい。

- 7、下着も白色のものを着用するべきでしょうか？

エンティティとカサは白を着用するようにお願いしています。下着等の衣類の詳細部分については各々の判断にお任せします。

8、サプリメントを自分の妻に与えてもよいですか？

サプリメントはエンティティによってあなたの為だけに特別に用意されたものです。もし、あなたのサプリメントを他の人に与えても、効果は無いばかりか、サプリメントに注入されたあなたの為のスピリチュアル効果、スピリチュアル・エネルギーを無駄にしています。

9、何故、サプリメントは有料なのですか？

ブラジルの保健法令は、服用される全てのサプリメントは医薬品規定に認可された施設で調合し包装することを義務付けています。このことはカサがそれにかかる費用を賄わなければならないことを意味します。もし、このサプリメントを購入する経済的余裕の無い方はカサの運営担当者か責任者に相談される様、エンティティは勧めています。必要に応じた特別な措置を提案します。

10、何故、禁性欲のルールがあるのですか？

性的欲求は、診療後のあなたの身体に精妙に広がって治療を続けているエネルギーに凶事的な影響を与えるからです。

11、聖水は普通のお水とどの様な違いがあるのでしょうか？

聖水(波導水)は何故良いのか？ それを科学的な角度から捉えた本に興味がある方は江本勝氏の『水からの伝言 I & II』をお読みになって下さい。江本氏の研究は人の感情・思考、文字が水に影響を持つことを凍結させた結晶で証明しています。彼の研究によると、文字が書かれた紙を、水の入った容器に巻きつけることによって、その中にある水の分子を再配列する事が出来ます。

このことから、真剣なお祈りとスピリチュアル・エネルギーは同効果があるばかりでなく、更に高い度数の結果が得られると考えて良いでしょう。又、私達の体の70%以上が水分である事を考えると、カサのエンティティによって清められた水を体内に摂取することでどの様な影響を私達が受けるかは明らかなことです。

12、以前にエンティティに面会したことがあります。今回、エンティティに一度も面会したことが無い人達の写真をエンティティに照会する場合、『ファーストタイム・ライン』それとも『セカンドタイム・ライン』に並ぶのでしょうか？

『セカンドタイム・ライン』に並んで下さい。

13、エンティティに面会した際、エンティティは今晚私を訪問すると言われました。

エンティティがあなたの就寝中にスピリチュアル訪問をされることを意味します。姿の無い意識だけが訪れるので、起きて待っていても誰もあなたの部屋をノックしません。ですから、この様な場合はほどよい時間に就寝し、ぐっすり眠られる事をお勧めします。出来れば、ベッドの脇にコップに注いだ聖水を置き、朝の目覚めと共に感謝のお祈りを捧げてからお水を飲んで下さい。

時々、エンティティはあなたに指定された時間まで起きている様に指示されます。指定された時間には意識を内側へ向け、お祈りをされて下さい。決してテレビを見たり、ゲームをして遊んだりしないこと。

14、エンティティが『すべきことをした』と言われました。これは何の意味ですか？

エンティティがあなたの要望の手助けをする為に必要なスピリチュアルな働きかけを滞りなく果たした、すなわちエンティティがすべき公約を果たしたという意味です。そして、あなたがすべき過程をあなた自身が果たさなければならない事も覚えておいて下さい。

15、エンティティが今日の午後または明日に会いたいと告げられました。どうすれば良いのでしょうか？

午後の場合、『ツーオ'clock・ライン』、明日の場合は『エイト・オ'clockライン』に並ばれて下さい。

